

広島県は九日、有望なベンチャー企業（VB）に無料貸与するオフィス「ベンチャービレッジひろしま」を広島市内に開設した。同県が今年度から始めた県外VBの誘致・育成事業で支援先に選定した半導体関連メーカーなど計九社が入居した。各企業ごとの個室の

広島市内にVB村

県、事務所を貸与

ほか、共用の会議室や秘書・通訳業務などの機能も備えており、VBの事業展開を後押しする。ベンチャービレッジは同市内中心部のオフィスビル内に設置した。床面積は約二百九十平方メートル。オフィスの賃料は同県が負担し、光熱費や通信費などは入居企業が実費を

誘致の県外企業支援

支払う。オフィス運営はの第一号企業となった超VB支援会社の起業創研（東京・渋谷）に委託する。生産会社のフィルテック（東京・千代田）も同ビ
 広島県は今年度から、県外VBの誘致・育成事業に着手。同ビレッジの開設に加え、有望VBを公募で選び、新設の投資事業組合が出資する支援制度も整えた。公募選定審査会で審査する。後、新規入居を希望する企業については、コンサルタントなどで構成する